

# 新たな市民協働に向けた 地域創生リーダー育成研修

## 「できない」を「できる！」に変える地域創生フォーラム 「地域創生 元気なまちは何が違うのか？」

「スーパー公務員」木村俊昭氏が、地域創生に必要な  
市民や企業の関わり方について語る

日本の地域では、人口減少や高齢化の進展など、愛着心を持ち住み暮らす人々のモチベーションが低下し、年々、まちの底力も弱体化していることが課題となっています。その状態から抜け出すためには、自分たちの力のできる「ひと育て」「まち育て」の構想とその実現が必要となりますが、現状では、なかなか容易なことではありません。そこで、地域創生に必要な視点、参画のあり方、まちの宝もの分析、基幹産業分析など、市民や企業の「ひと育て」「まち育て」の関わり方について、「スーパー公務員」木村俊昭氏が最新事例を交えながら、分かりやすく解説します。

**日** 8月9日(木)

**時** 午後6時～  
(開場:午後5時30分)

**場** 泉大津市役所  
**所** 3階大会議室  
(定員60名、参加費無料)

【対象者】まちの活性化に興味をお持ちの方(企業、団体、個人は問いません)

【申込方法】人事課までメール又は電話でお申込みください

【申込先】泉大津市総合政策部人事課

✉:jinjika@city.izumiotsu.osaka.jp ☎:0725-33-1131(代表)



【講師：木村俊昭氏 プロフィール】

『東京農業大学教授、内閣官房シティマネージャー(自治体・特別参与)』

1960年北海道生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程単位取得退学。

小樽市経済部産業振興課長、産業港湾部副参事。内閣府企画官、農林水産省企画官等を歴任。

小樽市の地域活性に奔走し、産業観光都市としての地域ブランド化を成功させる。現在は、東京農業大学教授、内閣官房シティマネージャー(自治体・特別参与)、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事、日本地域創生学会会長、地域活性学会常任理事等として、大学・大学院講義のほか、国・自治体・経済団体等の依頼により講演・現地アドバイス等を実践中。